

平成29年度 事務・事業報告書  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- I 年度末会員数 315名 (入会10名、退会27名)  
○ 賛助会員 6団体  
(入会者・退会者・賛助会員名簿は14ページに記載)
- II 総会、理事会、監事会  
(I) 総会  
第69回定時総会 平成29年5月27日(土)  
(II) 理事会  
第1回 平成29年5月 9日(火) 第2回 平成29年7月 4日(火)  
第3回 平成29年9月27日(水) 第4回 平成30年3月27日(火)  
(III) 監事会(第2回以降は理事会と併催)  
第1回 平成29年4月28日(金) 第2回 平成29年5月 9日(火)  
第3回 平成29年7月 4日(火) 第4回 平成29年9月27日(水)  
第5回 平成30年3月27日(火)
- III 事務・事業報告  
(I) 人と動物が共生する社会環境の健全な発展を目的とする事業 [公I]  
1 獣医師道の高揚と組織の強化  
(1) 本会会員としての誇りをもち、獣医師倫理の確立と高揚を図った。  
(2) 京都府一円を区域とする獣医師唯一の公益法人として、その本質をよく理解し、公益事業の推進に努めることにより社会に貢献し、会員の結束を図った。  
(3) 獣医師関係法令を遵守し、獣医師倫理綱領「獣医師の誓いー95年宣言」並びに獣医師会活動指針「動物と人の健康は一つ、そして、それは地球の願い」の周知を図った。  
(4) 「One World, One Health」の理念のもと、本会に医師会連携推進部会を設置し、平成26年11月に一般社団法人京都府医師会との技術連携推進協定を締結した。京都府医師会との連携事業として、本年度は次の講演会を開催した。  
・ 人と動物の身近な感染症予防講演会  
平成29年10月22日(日) 於：京都産業大学むすびわざ館
- 2 「狂犬病予防法」に基づく狂犬病予防事業の推進  
(1) 犬の飼養者に対し狂犬病予防注射の徹底を図るため、京都府と連携しつつ、府内25市町村と狂犬病予防法に基づく予防注射業務について委託契約を締結し、予防注射業務の円滑な実施と犬飼養者の利便性の向上に努めた。

(2) 全注射頭数 36,823頭 (対前年度 367頭減)

(3) 集合注射実績 [4月]

年 度	注射頭数 (頭)	所要日数 (日)	指定獣医師 (人)
平成29年度	7,460	96.0	58
平成28年度	7,754	99.5	57

(対前年度 294頭減)

(4) 個別注射実績

年 度	注射頭数 (頭)	所要日数	指名獣医師 (施設)
平成29年度	29,363	年 間	133(92)
平成28年度	29,436	年 間	129(93)

(対前年度 73頭減)

(5) 狂犬病予防注射業務が円滑に運営・実施できるように、小動物・狂犬病予防委員会を3回開催し、委託事務の進め方について検討を行い、市町村と緊密な連携を図りつつ委託事務の円滑な推進に努めた。

第1回 平成29年 6月28日 (水)

第2回 平成29年11月20日 (月)

第3回 平成30年 1月23日 (火)

(6) 本会主催の府民公開事業「動物感謝デー in KYOTO」において、狂犬病予防の重要性について講演・パネル展示等を行い、啓発に努めた。

### 3 産業動物獣医療対応

- (1) 平成29年10月22日(日)に「動物感謝デーin KYOTO」において普及啓発を図るとともに、京都府産業動物獣医療体制協議会に参画するなど畜産振興及び家畜衛生対策に努めた。
- (2) 本年は全国で高病原性鳥インフルエンザ等が発生し、野鳥等からも多数検出された。中国、韓国においては猛威を振るっていることから、侵入防止に努め、死亡牛のBSE検査等京都府の防疫事業に協力した。
- (3) 「京都府における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画」に協力するなど、関係団体の実施する畜産関係事業に参加し、協力した。

### 4 小動物獣医療対応

(1) 犬及びねこの個体識別マイクロチップ装着の普及促進

小動物の動物愛護・福祉の向上を図るため、犬及びねこを対象にマイクロチップ装着の重要性を啓発し飼養者への普及推進(平成22~29年度実績6,009本)に努めてきた。

平成28年12月からマイクロチップの管理を本部が行う体制に改め、本部及び会員間の連携を密にして本事業を進めてきた。

事業参加協力会員数	57会員
マイクロチップの装着 (29年度分)	562本 (犬 251頭、ねこ 311匹)

- (2) 福知山市の運営する動物園及び家畜市場の動物衛生管理について本会が同市から委託を受け、円滑な業務推進に努めた。
- (3) 京都府が開催した動物取扱業者講習会(京都府内4地域6回)に講師を派遣するとともに、動物適正飼養意識と動物愛護精神の高揚に努めた。
- (4) 平成22年5月に制定された「日本獣医師会・獣医師会活動指針」について、会員への周知を図るとともに、動物医療の高度化と飼育動物に対する家族意識の高まりに対応した小動物診療の適正化とインフォームドコンセントの重要性について啓発に努めた。

## 5 保健衛生に対する対応

- (1) 食の安心・安全対策を推進するため、食鳥処理施設(府内2施設)の管理者・従事者及び出荷農場経営者を対象とした研修会を開催した。京都府中丹西・丹後の各保健所及び中丹・丹後の各家畜保健衛生所の講師による講演とともに食鳥検査員が衛生管理の課題を発表し、近く義務化される HACCP 衛生管理の導入方法等の現状と課題について各処理場から報告があり、意見交換を行い、食鳥処理衛生管理対策の向上を図った。
  - ・平成30年3月14日(水)PM 中丹養鶏事業協同組合 24名参加
  - ・平成30年3月14日(水)AM 丹後勤労者福祉会館 40名参加
- (2) 福知山市食肉センターの衛生管理責任者として、本会が同市から委託を受け3名を派遣し、と畜場の衛生管理の維持向上に努めた。
- (3) 狂犬病をはじめとする人と動物の共通感染症について、予防啓発に努めた。
- (4) 京都府の人と動物の共通感染症予防対策連絡調整会議に参画し情報交換を行った。
- (5) 京都府の動物感染症サーベイランス事業の委託を受け、13動物病院における感染症の発生動向を把握し、各診療施設に情報をフィードバックすることにより、早期発見とまん延防止に努めた。

## 6 動物愛護及び福祉への対応

- (1) 京都府動物愛護推進協議会の運営及び活動に協力した。
- (2) 京都府内各地域の動物愛護推進団体が行う適正飼養推進行事に参画するとともに、地域における動物介在療法等の活動にも参画した。
- (3) 京都府市町村狂犬病発生予防課長等会議が平成29年11月22日(水)に京都府職員福利厚生センターにおいて開催され、本会関係役員が出席して改善提案等を行った。
- (4) 京都動物愛護フェスティバルが平成29年9月23日(土)に岡崎公園(京都市)において開催され、この会場で京都府動物愛護管理関係表彰式が実施され、動物愛護功労者等として次の会員が受賞した。
  - ・ 狂犬病予防事業功労者表彰 西谷 宏一氏(京都支部)
  - ・ 動物適正飼養、愛護功労者表彰 兼光 弘章氏(山城支部)
- (5) 夜間動物救急診療体制の維持は、小動物診療を推進して行く上で府民への公益性向上に貢献するという観点から、「京都夜間どうぶつ診療所」

に関してホームページ等を通じ啓発に努めた。

#### 7 学校獣医師制度の推進

- (1) 宇治市との契約に基づく宇治市立小学校の「小動物学校医」制度の充実を図り、22校中15校において飼育動物の衛生管理指導に努めた。
- (2) 宇治市立小学校飼育動物の定期健康診断及び飼育指導については、指定学校医10名が15小学校を分担し、各学校を訪問して行った。
- (3) 学校飼育動物の疾病が発生した場合、随時治療を行うとともに、個別指導を実施した。

#### 8 野生動物保護及び獣医療への対応

- (1) 京都府委託事業として実施した野生鳥獣救護事業については、府民等から動物病院に搬入された野生鳥獣は33件(鳥類32件、獣類1件)であり、そのうち救護対象傷病鳥獣は23件であった。小動物部会員により救護措置をとり、回復した鳥獣は山野に帰された。また、平成25年10月から有害とされる鳥獣が救護対象動物から除外されることとなったことについて普及啓発し、動物病院における対応方法を検討してきた。
- (2) 動物診療施設53施設が本事業に参画し、それぞれの診療施設の対応可能鳥獣を把握して、京都府に報告するとともに、地域で事業の円滑化を図る相談員として4名を継続してお願いしてきた。

#### 9 災害救援活動への対応と協力

- (1) 京都府との協定に基づく災害発生時ボランティア活動として、京都府総合防災訓練に参加するとともに、関係機関連絡会議に参加協力した。
- (2) 災害時の動物救護活動のための事業を継続しており、災害対策準備基金(本年度末現在2,448,981円)を積立てている。
- (3) 災害発生時の救援ボランティアとして京都府に登録している会員数は、102名である。

#### 10 「動物感謝デー in KYOTO」の開催

平成29年10月22日(日)に「むすびわざ館(京都産業大学)」において、京都府、農林水産省、日本獣医師会及び報道機関の後援並びに24企業・団体の協賛を得て開催し、約500名の府民の参加があり、京都府獣医師会活動紹介、動物愛護管理、畜産振興事業等の広報啓発を行った。

府民公開事業推進委員会等を次のとおり開催し、実施計画の具体化を図り、実施後の検討を行った。

- ・第1回 府民公開事業推進部会 平成29年 7月11日(火)
- ・第2回 府民公開事業推進部会 平成29年 9月12日(火)
- ・第3回 府民公開事業推進部会 平成29年11月13日(月)

○ 体験会場 (1階 カフェ)

12:30 ~ 15:30 はちみつの味香当クイズ (豪華な賞品を当てよう!)

○ 展示会場 (3階 特設展示場)

10:30~15:30 京都府動物愛護・畜産振興関係展示・獣医師の仕事紹介(パネル展示)

協賛企業ブース展示(微生物化学研究所・京都ペット総合専門学校・京都動物専門学校

京都府牛乳協会・京のふるさと産品協会)

○ 体験会場 (3階 301教室)

10:30 13:30 補助犬デモンストレーション、ドッグ・セラピー紹介

○ 相談会場 (3階 302教室)

10:30~15:30 獣医学・動物生命医科学系大学個別進路相談会・健康&しつけ相談

○ 体験会場 (3階 303教室)

10:30~15:30 災害対策・同行避難の展示、講義、上映会、デモンストレーション

○ 体験会場 (3階 304教室)

10:30 11:30 12:30 13:30 14:30 1日獣医師体験教室 (計5回)

○ 体験会場 (3階 306教室)

10:30 12:30 映画上映 (犬と猫と人間と2~動物たちの大震災~)

○ 体験会場 (3階 大教室)

10:30 13:30 映画上映 (犬と猫と人間と) 12:30 アコースティックライブ

○ サラバ会場 (3階 中教室)

10:30~11:30 with PET Labo 講演会(動物との住まいの工夫)

11:30~12:30 人畜共通感染症とワクチンの役割 (微生物化学研究所)

13:30~15:30 京都大学 CAMP-WAN・CAMP-NYAN 講演会他

同時開催事業「人と動物の身近な感染症予防講演会」(2階 ホール)

13:00 蚊、ダニが媒介する感染症への対策 岸本壽男 岡山県環境保健センター所長

14:15 感染症を引き起こす身近な衛生動物と対策 中嶋智子 京都府保健環境研究所

(II) 食鳥検査事業 [公II]

- 1 平成4年に厚生労働大臣の認可を受けた食鳥検査指定検査機関として、京都府から食鳥検査の全部の委任を受け、中丹養鶏事業協同組合(福知山市)及び株式会社共立(京丹後市)の食鳥処理場において食鳥検査を実施し、安心で安全な食鳥肉の供給に寄与した。

なお、食鳥指定検査機関に関する指導権限が平成29年4月1日から京都府知事に委任されて、近畿厚生局からの指導がなくなったことから近畿ブロック会議は廃止することとした。

食鳥処理事業実績

食鳥処理場	年 度	検査延羽数 (羽)	検査延日 数 (日)	実検査員数 (人)
中丹養鶏	平成29年度	2,883,532	257	6
	平成28年度	2,913,030	261	6
(株)共立	平成29年度	976,335	263	6
	平成28年度	1,000,172	264	6
計	平成29年度	3,859,867	520	12
	平成28年度	3,913,202	525	12

(対前年度 53,335羽減)

- 2 京都府の両食鳥処理場を所管する保健所及び家畜保健衛生所から食鳥検査運営委員として参加いただき、京都府福知山総合庁舎において食鳥検査運営委員会を2回開催し、食鳥検査事業の円滑な推進に努めた。

第1回 平成29年7月19日(水)

第2回 平成30年1月31日(水)

- 3 食鳥検査関係会議・研修会が次のとおり開催され、関係者が出席した。

- (1) 全国食鳥指定検査機関協議会総会への参加

平成29年 6月 9日(金) 於：東京都

- (2) 全国食鳥指定検査機関協議会情報連絡会議・研修会

平成29年10月24日(火) 於：佐賀市

- (3) 厚生労働省主催の食鳥肉衛生技術研修会・発表会

平成30年1月23～24日(火・水) 於：東京都

- (4) 食鳥検査員研修会(本会主催)

平成30年1月31日(水) 於：京都府中丹西保健所

(Ⅲ) 獣医学術の振興普及及び人材の育成に関する事業 [公Ⅲ]

- 1 動物医療に対する学術向上の推進

- (1) 本会会員の自主又は相互研鑽活動を促進し、獣医学術及び技術の振興を図り、人材を育成して社会的貢献を果たしていくため、各支部、各部会において検討し、地域又は部門に応じた獣医技術研修会を企画計画し、会員に周知するほかホームページ等で府民にも広く参加を呼びかけて開催し、知識・技術の高揚を図った。

支部 部会	年月日	曜日	場所	事業内容	参加者 (名)
京都	29. 10. 9	月 祝	京都市	京都競馬場における馬事衛生の取組み 競馬場における獣医師業務及び施設見学	19
山城	29. 10. 13	金	木津川市	犬・猫の慰霊祭 蟹満寺において市町村職員等も参加	20
南丹	29. 11. 4	土	亀岡市	亀岡肉フェスタ参加 京のこだわり畜産物生産農場 PR	5
中丹	29. 10. 15	日	豊岡市	コウノトリの郷公園と城崎マリンワールド に行ってみよう! 獣医師と獣医師会の仕事紹介	57
丹後	29. 10. 15	日	京丹後市	丹後の獣医さんの動物ふれあい教室 動物ふれあい・相談、獣医師職場紹介	300
	30. 3. 4	日	兵庫県 豊岡市	学術向上視察研修会 城崎マリンワールド、コウノトリ郷公園	11
総合	29. 9. 30	土	京丹後市	京都府碓高原牧場の視察 獣医師業務及び家畜飼育状況	12
産業 動物	29. 9. 24	日	亀岡市	家畜衛生管理研修会 ・資料汚染カビ毒と牛健康管理について 講師 村田英雄先生(京都産業大学) 西井真理先生(畜産センター) ・調査研究講演 3件3名	41
小動 物	29. 8. 27	日	京都市	講習会 嘔吐下痢への実践的アプローチ 講師 大野耕一先生(東京大学獣医内科)	36
	29. 12. 3	日	京都市	講習会 肝酵素上昇への実践的アプローチ と犬の代表的肝疾患 講師 大野耕一先生(東京大学獣医内科)	50
	30. 1. 28	日	京都市	講習会 猫の肝疾患と膵外分泌疾患 講師 大野耕一先生(東京大学獣医内科)	58
	30. 3. 11	日	京都市	講習会 初期治療(手術)がその後の治療 を複雑にした軟部外科症例 講師 小出和欣先生(井笠動物医療 S)	50
公衆 衛生	29. 6. 3	土	京都市	公衆衛生上の課題発表研修会 各部会員の研究発表 9件9名	20
	30. 1. 13	土	愛知県 半田市	MIZKAN MUSEUM 及び半田赤レンガ建物(旧 カプトビール工場)視察	17

(2) 平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会は、平成30年2月10～12日（金～日）に大分県別府市の別府コンベンションセンタービーコンプラザにおいて開催され、本会から7名が参加した。本会から1名が研究発表した。

(3) 近畿地区連合獣医師大会・日本獣医学術近畿地区学会は、次のとおり開催された。

○ 第95回近畿地区連合獣医師大会

- ・日 時 平成29年10月8日（日）
- ・場 所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
- ・参加者 205名（本会会員 21名）
- ・表彰受賞者 本大会において、次の会員が表彰を受けた。
  - ・日本獣医師会長感謝状 池 博敏氏（山城支部）
  - ・近畿地区連合獣医師会長感謝状 清水弘司氏（中丹支部）
  - 表彰状 竹内 実氏（京都支部）
  - 太田外之氏（山城支部）

○ 日本獣医学術近畿地区学会（平成29年度）

- ・日 時 平成29年10月8日（日）
- ・場 所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
- ・参加者 329名（本会会員 33名）
- ・発 表 85題（本会会員 9題）
- ・結 果 本会会員の受賞 奨励研究褒賞（産業動物1題、小動物1題）

○ 近畿地区連合獣医師会実施事業

- ・役員・事務局員会議
  - 平成29年 7月 5日（水） 於：琵琶湖ホテル
  - 平成29年12月 7日（木） 於：琵琶湖ホテル
- ・学会運営委員会・幹事会
  - 平成29年 8月27日（日） 於：大阪府立大学 I-site
  - 平成29年10月 7日（土） 於：大阪府立大学 I-site
  - 平成30年 1月 6日（土） 於：大阪府立大学 I-site
- ・総会 平成30年 2月 7日（水） 於：琵琶湖ホテル

(4) 女性獣医師が20～30歳代は半数を占めている現状に対処するため、平成26年度に女性獣医師活動支援部会を立ち上げ、女性獣医師の交流や活躍を推進するための事業等を行ってきた。平成29年7月21日（金）に女性活動支援部会を開催し、本年度は開催時期を事業が比較的少ない1月に変更し、第3回女性獣医師交流会を開催することとした。講師に農林水産省で活躍された日本獣医師会特任理事 栗本まさ子氏をお招きし、女性としてご苦労された内容や業務上の体験などをご講演いただき、参加者はその内容に大変感動し、その後講師を交えて交流を深めた。

○ 京都府女性獣医師交流会

- 日 時 平成30年1月21日（日）
- 場 所 ANAクラウンプラザホテル京都
- 参加者 21名



(5) 関係団体主催の獣医畜産技術研修会・講習会に参加協力した。

## 2 広報活動等の推進

公益社団法人としての活動を普及するため、公益法人制度の趣旨や本会事業内容を府民公開フォーラム等事業の開催、広報誌の発行及びホームページなどを通じて広く府民、関係団体及び会員への広報活動を行った。

ア 広報委員会を3回開催し、広報誌の編成にあたった。

第1回 平成29年 6月21日(水)

第2回 平成29年10月27日(金)

第3回 平成30年 1月26日(金)

イ 情報伝達誌「紫友」を年3回(第133号:平成29年8月、第134号:同年12月及び第135号:平成30年3月)発行した。

ウ 研修会等の事業はホームページに掲載し、広く啓発に努めた。

## (IV) 事業運営の健全な発展推進を図る事業 [その他]

### 1 その他委員会の開催

総務委員会を平成30年1月9日(火)に開催し、本会事業の進捗状況、見直し案など総括的な事項について検討し、理事会に提案することとした。

### 2 京都府並びに関係団体に対する要請活動

京都府に対し、獣医師関係業務の重要性を訴えるとともに産業動物獣医療の整備、家畜保健衛生所の充実強化、食鳥検査従事獣医師の確保及び獣医師独自給料表創設などの待遇改善等について要請活動を行った。

### 3 福祉共済対策の推進

(1) 日本獣医師会実施の獣医師共済事業への加入促進を図った。

(2) 獣医療トラブル等に対する対応のため、顧問弁護士相談体制をとった。

### 4 京都獣医畜産会館の健全な運営

(1) 本会が一般社団法人京都獣医畜産連合会事務局として、会館の適正、円滑な運営を行った。

(2) 営繕基金の適正管理及び充実強化を図った。

### 5 新公益法人制度の取組み

公益社団法人京都府獣医師会として平成25年4月1日に発足し、公益事業活動を安定促進させるため、公益法人としての事業内容の充実、会計処理の適正化等について検討し、京都府担当部局との調整を図り、体制整備に努めてきた。

6 関連団体との連携協力

獣医畜産関係団体との連携を密にして獣医畜産の振興及び公衆衛生の向上に努めた。

ア 一般社団法人京都獣医畜産連合会

平成26年4月1日から一般社団法人として発足し、本会が事務局を担当し、適正な運営・管理に努めてきている。

イ 公益社団法人京都府畜産振興協会

ウ 公益社団法人京都府家畜畜産物衛生指導協会

エ 京都府農業共済組合

オ 公益社団法人京都市獣医師会

カ その他の獣医畜産関係団体

7 獣医畜産関係図書及び諸物品の斡旋

図書及び諸物品の斡旋を行った。